

会 議 の 名 称	第31期 第1回社会教育委員会会議
開 催 日 時	平成21年9月10日（木） 10時00分から 12時00分まで
開 催 場 所	教育委員会室
出 席 者	西邨定実議長、植松千代美副議長、荒田英道委員、 稲田義治委員、岩谷誠委員、上田卓是委員、小川温子委員、 高木統禧委員、谷間倫子委員、藤井泰雄委員
欠 席 者	青野明子委員、石塚美穂委員
案 件 名	(1) 議長、副議長の選任について (2) 会議の取り扱いについて (3) 社会教育委員について (4) 枚方市の社会教育について (5) 今後の会議の進め方について
提出された資料等の 名 称	(1) 社会教育委員会会議について（社会教育法等） (2) 「枚方公園青少年センターについて」（諮問書） (3) 枚方公園青少年センターについて（経過、課題、事業概要） <b>【資料】</b> ・社会教育部・図書館の事務概要 ・社会教育、青少年施策、留守家庭児童会室について （社会教育青少年課） ・本市文化財について（文化財課） ・スポーツ振興について（スポーツ振興課） ・本市の図書館について（中央図書館）
決 定 事 項	議長を西邨定実氏、副議長を植松千代美氏に選出
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
傍 聴 者 の 数	0人
所 管 部 署 ( 事 務 局 )	社会教育部社会教育青少年課

## 審 議 内 容

<事務局> ただ今から、第31期第1回枚方市社会教育委員会議を開催します。なお、本会議は枚方市教育委員会傍聴規則を準用し、公開となっております。早速ですが今期委員による第1回目となりますので、開会にあたり教育長からあいさつを申し上げます。

教育長 おはようございます、教育長の南部でございます。  
第31期第1回社会教育委員会議の開催にあたりまして、教育委員会を代表しましてご挨拶申し上げます。

このたびは、枚方市社会教育委員をお引き受けいただきましてありがとうございます。心からお礼申し上げます。

第29期以降は、青少年施策について審議をお願いし専門的、多角的な立場から活発なご議論をいただきました。29期といたしますと公民館の市長部局への移管、青少年施策をどうするかという2題の論議をお願いし、また、29期・30期と青少年施策のあり方についてご論議をいただきました。それを受けまして、この31期をお願いすることになりますが、よろしく申し上げます。

教育委員会としましては、市長部局の関係課と連携しながら青少年施策の充実に取り組んできたところです。

今期の委員の皆様には、枚方公園青少年センターの運営の課題について、幅広いご意見をいただきたいと考えております。

ご存じのとおり、枚方公園青少年センターは青少年施策の拠点でございます。その取り扱いをどうしていくか、公民館が生涯学習市民センターに移行されたことをふまえて、ご論議をいただきたいと存じます。

各委員のみなさまにおかれましては、公私ともお忙しい中ではありますが、今後2年間のご協力お願いいたします。

<事務局> それでは次に、委員のみなさまから、自己紹介をお願いしたいと存じます。

荒田委員 私は経営コンサルタントなのですが、縁があり昨年まで星城大学などで教鞭をとっておりました。現在は少し時間に余裕ができましたので、これまでの研究を活かして地域づくりに貢献していきたいと考えています。社会教育委員は今回で3期目となりますが、また皆様いろいろな教えていただきながら研究を深めていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

稲田委員 私は、今年度の財団法人枚方青年会議所の理事長をしております。青年会議所は、市内の20歳～40歳までの青年経済人で構成されています。青年会議所の活動としては、枚方フェスティバル、こどもミ

ミュージカル、シンポジウムの企画、開催などを行っています。私たちの世代は、まちづくりを担う責任世代であると自覚し、しっかり活動していきたいと考えています。2年間よろしくお願いします。

岩谷委員 枚方市中学校校長会を代表して社会教育委員会議に出席させていただくことになりました。よろしくお願いします。

上田委員 60歳まで、ものづくりの会社でサラリーマンをしておりました。定年後はNALC（ニッポン・アクティブライフ・クラブ）というNPO法人の活動に参加し、現在はその枚方拠点の代表です。

NALCは、教育文化センターで開催されている高齢者対象の「生きがい創造学園」の講座や、この輝きプラザきららの1～2階にある生涯学習情報プラザの運営を受託しています。2年間よろしくお願いします。

植松委員 私は以前、枚方市内に住んでおり、その際に公民館（現在の生涯学習市民センター）やメセナひらかたを利用していました。また、公民館や社会教育課の事業に協力させていただいたようなご縁で、この会議に参加し今期で3期になります。本業は私市にあります大阪市立大学附属植物園の教員です。

植物園も博物館法に規定されており、植物園というフィールドを使う環境教育なども社会教育の範疇に入ってくると思われま

す。この社会教育委員会議ではじっくり議論することが大事であると思

います。2年間よろしくお願いします。

小川委員 枚方市小学校校長会を代表してこの会議に出席することになりました。日頃は、6歳～12歳の子どもたちをあずかっております。

この会議では青少年が対象となり、いつも見ている子どもたちより、年齢が上がりますが、これからの世の中を背負っていく青少年のために頑張っていきたいと思

高木委員 関西外国語大学短期大学部でフランス語を教えております。また、同大学に1991年に創部されたチアリーディング部「パイレーツ」の監督をしております。

パイレーツは大会に出場するだけでなく、高齢者施設や地元のイベントなどにも参加させていただいております。入学時は何も出来なかった学生でも、努力をすれば必ず目的が達成出来るということは、彼女たちが厳しい練習を積み重ねて、過去5回の全国大会優勝という結果が証明しているのではないかと思います。

谷間委員 現在、枚方市PTA協議会の副会長と交北小学校のPTA会長をさせていただいています。また毎週土曜日はふれ愛・フリー・スクエアの運営委員長として、朝9時～午後4時半まで小学校におります。また、日曜日は子どもとガールスカウト活動をしております。ガールスカウト活動はとてもやりがいがあり、一生続けて活動していきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

西邨委員 枚方体育協会の副会長をしています。  
先ほど高木委員からチア・リーディングの話がありましたが、体育協会の行事である新春走ろうかいには、毎年パイレーツが来て、エールを送ってくださっています。また、パイレーツのOGの協力で、体育館で子ども向けのチア・リーディング講習会を行い、大変好評ですし、子どもたちも達成感があるようです。今期で4期目になります。どうかよろしくお願ひいたします。

藤井委員 この4月から大阪府の青少年課勤務になりましたが、それまでは子ども家庭センターのケースワーカー、青少年相談センターの相談員、府庁でひとり親家庭の担当など、府に入職以来、福祉の専門職として仕事をしてきました。

<事務局> それでは、本日が第31期社会教育委員会議の第1回の会議になりますので、議長・副議長を選任していただかなければなりません。議長が決まるまでは、事務局で進行させていただきます。

まず事務局から本日の委員の出席状況の報告をいたします。本日の委員の出席状況は、委員12人中10人の出席です。青野委員、石塚委員は所用のため欠席です。

枚方市社会教育委員会議運営要綱第5条により過半数の出席がありますので、会議が成立することを報告します。

それでは案件(1)の「議長、副議長の選任について」を議題として審議しますが、この件について委員の方から、自薦・他薦など何かご意見ございますか。

(事務局一任の声)

特にご意見もないようですので、事務局において、提案がございません。事務局としましては、議長には、4期目で6年間務めてこられた西邨委員に、また副議長には3期目の植松委員にお願いしてはどうかと考えています。

委員の皆様、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

<事務局> 特に異論もないようですので、議長に西邨委員、副議長に植松委

員ということで決定いたします。議長に西邨委員、副議長に植松委員が選任されました。

それでは就任にあたりまして、一言ごあいさつをお願いいたします。

西邨議長 皆様のご協力を持って、議長という大役を果たしたいと存じますので、どうかよろしくをお願いいたします。

植松副議長 社会教育の施策について、みなさんと考えていきたいと存じますので、よろしくをお願いいたします。

<事務局> それでは、議長に、会議の進行をよろしくお願ひします。

西邨議長 早速ですが、資料(2)の枚方公園青少年センターのあり方について(諮問書)について事務局に説明を求めます。

<事務局> それでは、「枚方公園青少年センターのあり方について」南部教育長より西邨議長に諮問を行います。

教育長 第31期枚方市社会教育委員会議・議長 西邨定実様  
枚方公園青少年センターのあり方について、社会教育法(昭和24年6月10日法律第170号)第17条第1項第2号に基づき、枚方公園青少年センターの課題をふまえた今後のあり方について、社会教育委員会議に諮問します。枚方市教育委員会委員長 宮川勝也。  
なお、青少年センターの課題につきましては、後ほど担当者より説明させていただきますので、よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

西邨議長 ただ今、教育長より「枚方公園青少年センターのあり方について」諮問を受けました。今後の社会教育委員会議におきまして、枚方公園青少年センターの課題を踏まえた今後のあり方について議論を重ね、答申を行いたいと考えます。  
続きまして、教育委員会事務局職員の紹介をお願いします。

<事務局> 南部教育長、岸社会教育部長、吉田中央図書館長です。紹介の途中ではございますが、南部教育長、岸社会教育部長、吉田中央図書館長につきまして、他の公務があるため、ここで退席させていただきます。他の事務局は福井社会教育部参事、中田社会教育部次長、大槻社会教育青少年課長、稲田文化財課長、平尾スポーツ振興課長、亀元中央図書館事務長、武田社会教育青少年課主幹、西村枚方公園青少年センター所長、対馬社会教育青少年課長代理、井谷・岡田同課係長、北田同課主任です。

西邨議長　それでは、次に案件（４）枚方市の社会教育について、事務局から説明をお願いします。

<事務局>　教育委員会事務局には、管理部、学校教育部、社会教育部、図書館があり、社会教育関係部署は社会教育部と図書館です。各課長から所管する事務の概要など説明させていただきます。

#### 【社会教育青少年課について】

「平成20年度事務概要」の所管事務の概要を元に主催事業や取り組みについて説明。社会教育基礎講座として今年度は「ようこそ枚方へ」と題し、枚方市のさまざまな取り組みについて、担当課の職員を講師に実施。家庭教育推進事業では「親を考えるセミナー」「親学習講座」などを実施。また「日本語・多文化共生教室事業」「朝鮮語教室」を地域振興部に補助執行して実施。青少年の健全育成のために、ふれ愛フリー・スクエア、青少年育成指導員の事務局、青少年センターを拠点とした青少年サポート事業などを実施。「はたちのつどい(成人祭)」は市内19中学校を会場に今年度1月11日に実施予定です。枚方公園青少年センターに関すること。留守家庭児童会室に関すること。社会教育委員会会議に関することなどの業務を行っております。

#### 【文化財課について】

枚方市内には、国指定の牧野車塚古墳、禁野車塚古墳、国の特別史跡である百済寺跡、田中家のムクの木、淀川のイタセンパラ（魚）、東部の棚田（景観）など貴重な文化財があり、これらを守り後世に伝えていかななくてはならないと考えています。藤阪にある旧田中家鋳物民俗資料館、枚方宿の鍵屋資料館での事業、歴史シンポジウムや春の百済フェスティバルなども開催しています。また、地域には石仏や灯籠などが残されており、たとえ文化財に指定されていなくても、村の歴史と共に歩んできた歴史文化遺産としてとらえ、まちづくりに活かし、どのように後世に伝えていくかが課題です。また、樟葉宮歴史懇話会、七夕まつりの会など市民団体も熱心に活動されています。そして牧野の片埜神社の檜皮葺き替えの予算が文化庁からありましたので、子どもたちにも作業を体験してもらう予定です。

これからも市内のさまざまな文化財を点を線にし、面としながら、貴重な文化財を伝えていきたいと考えています。

#### 【スポーツ振興課】

スポーツ振興課の所管事務の概要について説明させていただきます。事業の主なものは、社会体育、スポーツ・レクリエーション、学校体育施設の開放、体育施設、(財)枚方体育協会に関することなどです。これらをスポーツ振興ビジョンに基づき事業展開を行なっています。

また、体育指導委員協議会、枚方レクリエーション協会、スポーツ少年団の事務局を担っています。

市のイベントとしては春期、秋季総合体育大会、体育の日・スポーツカーニバル、ラグビー・カーニバル、小学生野球教室など、多様な行事を行っています。

次に学校開放事業ですが、小学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放し、幅広い市民にスポーツを楽しんでもらっています。

所管施設としては、総合スポーツセンター（陸上競技場併設）、渚市民体育館、野外活動センターがあります。

今後のスポーツ施設の整備予定として、第2清掃工場横に東部スポーツ公園、元枚方西高校跡地の体育館とテニスコートの改修を計画しております。当課の事務概要としては以上ですが、枚方体育協会の独自事業として実施しておられるキングフィッシャースポーツクラブについて、少し紹介させていただきます。スポーツ振興ビジョンにも総合型スポーツクラブの育成を謳っておりますが、会員制のスポーツクラブでもなく5年目をむかえ、会員数も700人程になっております。体育協会が加盟団体と連携し、各種スポーツが楽しめ、またいろいろなスクールも用意されており、当課としても大いに期待をしている事業です。

#### 【中央図書館について】

昭和48年に発足した枚方市の図書館は、こどもからお年寄りまでが気軽に図書館を利用できるように、まずは分室などの小さなサービスポイントからはじまり、平成17年4月に開館した中央図書館を核として図書館が8館、分室が11、自動車文庫が27か所で図書館サービスを行っています。

中央図書館が開館して4年が過ぎた平成20年度の利用状況は、貸出冊数が440万冊を記録しました。中央図書館開館前と比較すると、28%も増えています。

さまざまな図書館利用に障害のある方へのサービスとして、障害者・高齢者サービスを行っています。また、子どもたちへのサービスにも発足以来、取り組んできました。この永年の子どもたちへのサービスに対して、平成18年度に文部科学省から「子どもの読書活動優秀実践図書館」として表彰されました。また、市民とともに図書館活動をとという図書館の方針のもとに図書館運営に多くのボランティアが参加されています。

今後の行事としては、11月8日に「ひらかた暗唱大会」11月14～15日にリサイクル・ブック市などを開催します。

西邨議長 それでは続きまして、案件（5）の「今後の会議の進め方について」を議題とします。資料の「枚方公園青少年センターの事業概要と課題について」事務局から説明をお願いします。

<事務局> 枚方公園青少年センターは「青少年に学習と憩いの場を与え、青少年の仲間作りと活動を助成し、健全な育成を図ることを目的に平成2年1月に開所し、まもなく開所20年を迎えます。

利用は登録制で青少年の団体をはじめ、一般の団体も無料で利用できます。またロビーは毎日青少年をはじめ様々な年代の方の学習の場やいこいの場としてにぎわっています。

建物の概要はお配りいたしましたパンフレットをご覧ください。青少年センターは京阪枚方電車公園駅から淀川河川公園側へ約150メートルのところにごさいます。1階は公設市場サンパークで2階3階が青少年センターとなっております。利用できる会議室や備品についてはこちらに記載のとおりです。

次に資料に基づき、課題について説明します。

平成18年10月に公民館が生涯学習市民センターとして、市長部局に所管が移り、生涯学習の拠点施設、地域との連携や活性化に貢献する施設へと再編されました。翌19年1月には開館時間の拡大（朝9時開館や祝日の開館）、4月には施設の有料化がスタートし、約2年を経て定着しています。なお、社会教育施設において再編対象とされたのは、施設の性格に一体性が見られる「公民館6館」と「公民館的機能を有する2館（サンプラザ市民センター・南部市民センター）」で、枚方公園青少年センターは対象外とされました。

見直しすべき課題としては主に次のような点であると考えています。

- 1) 生涯学習市民センターにおける受益者負担制度が浸透・定着していることから、一般団体の使用において、公平性が確保できていない。
- 2) 音楽室等の備品をはじめ、施設の老朽化に対応する経費が今後ますます必要となる。
- 3) 青少年と一般の団体を、同列で施設の利用申込みを受付しており、登録団体数も一般団体が約2倍を占めているという状況にある。
- 4) 開館開始時間や休館日、並びに利用対象者など、生涯学習市民センターの運営と異なる点が多い。

西邨議長 諮問に対する答申の期日につきまして、事務局の考えをお聞かせください。

<事務局> 会議につきましては、このあと年内に3回、年明けの3月までに2回程度の開催を予定しております。答申につきましては、来年の3月をめどにお願いしたいと考えます。

西邨議長 では社会教育委員会議といたしまして、来年3月までに答申を行いたいと思います。委員の皆様には、何かとタイトな日程になりますが

よろしくお願ひいたします。では、今まで各課から多方面に渡って説明いただきましたが、何かご質問はございませんか。

高木委員 図書館にお伺ひいたします。定年等退職する先生からよく尋ねられるんですが、不要になった図書について、図書館で引き取っていただけますか。

<事務局> 寄贈は、お受けします。ただし、活用方法については図書館にお任せいただけることをご承認いただいた上です。また、ご自身でお持ち込みいただくことになります。

藤井委員 青少年センターの説明の中で青少年相談の説明を、もう少しお願ひします。

<事務局> 青少年センターにおいて青少年サポート事業を行っております。社会教育青少年課が中心となり、青少年センターと共に行っています。今、第1、第3火曜日に各区分ごとに相談時間を設け、青少年の引きこもりや悩みなどを聞いています。今年度から相談時間を夜間に移動しまして、青少年が出やすい時間に見直して実施しています。

西邨議長 これは事前に予約が必要ですか、その時間に行ったら相談にのってもらえるのですか。

<事務局> はい事前に予約が必要です。時間区分がございますので、予約専用の電話で申し込みが必要です。

植松副議長 次回の会議で示していただきたい資料があります。枚方公園青少年センターの資料の2番に課題がありますが、公民館から生涯学習市民センターに変わってからの減免の運用状況について、また、青少年サポート事業の相談の利用頻度について、教えてください。

<事務局> ご質問の資料につきましては、次回の会議までに生涯学習課とも相談しまして当日に資料をお示しします。

青少年サポート事業ですが、この2年間の件数では、ひきこもりの相談が圧倒的に多くなっています。この事業は大阪府から補助金を受けて実施してきましたが、平成20年度で補助金の打ち切りとなり、今年度から市の単独事業として取り組むことになり、夜間の相談時間にシフトし、保護者などが相談に来やすい時間帯に行っております。また電話相談も行っております。課題としましては、概ね26歳までの方を対象としておりますが、26歳を超えたからといって相談を受け付けないということではありません。

枚方市では家庭児童相談所や教育文化センターなど、年代に応じた相談窓口もあり、その辺りとの連携をとっていく必要があります。

植松副議長 あと2つ、青少年センターの登録状況では明らかに使用する頻度が青少年と一般では違っていますが、実際に利用している時間帯についてどうですか。青少年は昼間は学校があり、利用はできないと思いますので、曜日と時間の特徴を教えてください。

もう一つは、生涯学習市民センターでは主催事業をどの程度実施しておられるのでしょうか。また市民が主催事業に参加される場合の費用負担は、有料か無料か教えてください。

<事務局> 青少年センターの部屋別の利用状況については、次回にお出しいたしますが、音楽室については、夕方から夜にかけてと土曜、日曜に青少年の利用が多い傾向にあります。4月から6月の昼間については、一般7：青少年3となっていますが、これが7月、8月の夏休みとなると逆転します。また、生涯学習センターの主催事業は活動委員会があり、枚方市から負担金を支出しています。主催事業については、材料費程度の実費をいただいていますし、参加費等の徴収は、公民館時代から引き継がれております。このあたりも生涯学習課とも相談し、資料をお出ししていきたいと考えています。

高木委員 成人教育に関することについて具体的に教えてください。

<事務局> 成人教育の具体的な内容につきましては、社会教育基礎講座という事業名をつけまして、昨年度は裁判員制度について、今年度は「よろこぼ枚方へ」ということで、枚方市に引っ越してこられて間もない方への、子育て・教育、文化観光・文化財・環境などの講座を企画しております。その他、社会問題なども取り入れていくべきだと考えています。

西邨議長 ではその他何かございませんか。ないようでしたら、次回の会議の日程について調整したいと思います。

#### <日程調整>

西邨議長 日程につきましては、10月6日（火）午後3時から、会場は諮問を受けた枚方公園青少年センターで施設見学をした後、センター内で会議を行います。

会 議 の 名 称	第31期 第1回社会教育委員会会議
開 催 日 時	平成21年9月10日（木） 10時00分から 12時00分まで
開 催 場 所	教育委員会室
出 席 者	西邨定実議長、植松千代美副議長、荒田英道委員、 稲田義治委員、岩谷誠委員、上田卓是委員、小川温子委員、 高木統禧委員、谷間倫子委員、藤井泰雄委員
欠 席 者	青野明子委員、石塚美穂委員
案 件 名	(1) 議長、副議長の選任について (2) 会議の取り扱いについて (3) 社会教育委員について (4) 枚方市の社会教育について (5) 今後の会議の進め方について
提出された資料等の 名 称	(1) 社会教育委員会会議について（社会教育法等） (2) 「枚方公園青少年センターについて」（諮問書） (3) 枚方公園青少年センターについて（経過、課題、事業概要） <b>【資料】</b> ・社会教育部・図書館の事務概要 ・社会教育、青少年施策、留守家庭児童会室について （社会教育青少年課） ・本市文化財について（文化財課） ・スポーツ振興について（スポーツ振興課） ・本市の図書館について（中央図書館）
決 定 事 項	議長を西邨定実氏、副議長を植松千代美氏に選出
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
傍 聴 者 の 数	0人
所 管 部 署 ( 事 務 局 )	社会教育部社会教育青少年課

審 議 内 容

<事務局> ただ今から、第31期第1回枚方市社会教育委員会議を開催します。なお、本会議は枚方市教育委員会傍聴規則を準用し、公開となっております。早速ですが今期委員による第1回目となりますので、開会にあたり教育長からあいさつを申し上げます。

教育長 おはようございます、教育長の南部でございます。  
第31期第1回社会教育委員会議の開催にあたりまして、教育委員会を代表しましてご挨拶申し上げます。

このたびは、枚方市社会教育委員をお引き受けいただきましてありがとうございます。心からお礼申し上げます。

第29期以降は、青少年施策について審議をお願いし専門的、多角的な立場から活発なご議論をいただきました。29期といたしますと公民館の市長部局への移管、青少年施策をどうするかという2題の論議をお願いし、また、29期・30期と青少年施策のあり方についてご論議をいただきました。それを受けまして、この31期をお願いすることになりますが、よろしく願います。

教育委員会としましては、市長部局の関係課と連携しながら青少年施策の充実に取り組んできたところです。

今期の委員の皆様には、枚方公園青少年センターの運営の課題について、幅広いご意見をいただきたいと考えております。

ご存じのとおり、枚方公園青少年センターは青少年施策の拠点でございます。その取り扱いをどうしていくか、公民館が生涯学習市民センターに移行されたことをふまえて、ご論議をいただきたいと存じます。

各委員のみなさまにおかれましては、公私ともお忙しい中ではありますが、今後2年間のご協力お願いいたします。

<事務局> それでは次に、委員のみなさまから、自己紹介をお願いしたいと存じます。

荒田委員 私は経営コンサルタントなのですが、縁があり昨年まで星城大学などで教鞭をとっておりました。現在は少し時間に余裕ができましたので、これまでの研究を活かして地域づくりに貢献していきたいと考えています。社会教育委員は今回で3期目となりますが、また皆様いろいろなと教えていただきながら研究を深めていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

稲田委員 私は、今年度の財団法人枚方青年会議所の理事長をしております。青年会議所は、市内の20歳～40歳までの青年経済人で構成されています。青年会議所の活動としては、枚方フェスティバル、こどもミ

ミュージカル、シンポジウムの企画、開催などを行っています。私たちの世代は、まちづくりを担う責任世代であると自覚し、しっかり活動していきたいと考えています。2年間よろしくお願いします。

岩谷委員 枚方市中学校校長会を代表して社会教育委員会議に出席させていただくことになりました。よろしくお願いします。

上田委員 60歳まで、ものづくりの会社でサラリーマンをしておりました。定年後はNALC（ニッポン・アクティブライフ・クラブ）というNPO法人の活動に参加し、現在はその枚方拠点の代表です。

NALCは、教育文化センターで開催されている高齢者対象の「生きがい創造学園」の講座や、この輝きプラザきららの1～2階にある生涯学習情報プラザの運営を受託しています。2年間よろしくお願いします。

植松委員 私は以前、枚方市内に住んでおり、その際に公民館（現在の生涯学習市民センター）やメセナひらかたを利用していました。また、公民館や社会教育課の事業に協力させていただいたようなご縁で、この会議に参加し今期で3期になります。本業は私市にあります大阪市立大学附属植物園の教員です。

植物園も博物館法に規定されており、植物園というフィールドを使う環境教育なども社会教育の範疇に入ってくると思われま

す。この社会教育委員会議ではじっくり議論することが大事であると思

います。2年間よろしくお願いします。

小川委員 枚方市小学校校長会を代表してこの会議に出席することになりました。日頃は、6歳～12歳の子どもたちをあずかっております。

この会議では青少年が対象となり、いつも見ている子どもたちより、年齢が上がりますが、これからの世の中を背負っていく青少年のために頑張っていきたいと思

高木委員 関西外国語大学短期大学部でフランス語を教えております。また、同大学に1991年に創部されたチアリーディング部「パイレーツ」の監督をしております。

パイレーツは大会に出場するだけでなく、高齢者施設や地元のイベントなどにも参加させていただいております。入学時は何も出来なかった学生でも、努力をすれば必ず目的が達成出来るということは、彼女たちが厳しい練習を積み重ねて、過去5回の全国大会優勝という結果が証明しているのではないかと思います。

谷間委員 現在、枚方市PTA協議会の副会長と交北小学校のPTA会長をさせていただいています。また毎週土曜日はふれ愛・フリー・スクエアの運営委員長として、朝9時～午後4時半まで小学校におります。また、日曜日は子どもとガールスカウト活動をしております。ガールスカウト活動はとてもやりがいがあり、一生続けて活動していきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

西邨委員 枚方体育協会の副会長をしています。  
先ほど高木委員からチア・リーディングの話がありましたが、体育協会の行事である新春走ろうかいには、毎年パイレーツが来て、エールを送ってくださっています。また、パイレーツのOGの協力で、体育館で子ども向けのチア・リーディング講習会を行い、大変好評ですし、子どもたちも達成感があるようです。今期で4期目になります。どうかよろしくお願ひいたします。

藤井委員 この4月から大阪府の青少年課勤務になりましたが、それまでは子ども家庭センターのケースワーカー、青少年相談センターの相談員、府庁でひとり親家庭の担当など、府に入職以来、福祉の専門職として仕事をしてきました。

<事務局> それでは、本日が第31期社会教育委員会議の第1回の会議になりますので、議長・副議長を選任していただかなければなりません。議長が決まるまでは、事務局で進行させていただきます。

まず事務局から本日の委員の出席状況の報告をいたします。本日の委員の出席状況は、委員12人中10人の出席です。青野委員、石塚委員は所用のため欠席です。

枚方市社会教育委員会議運営要綱第5条により過半数の出席がありますので、会議が成立することを報告します。

それでは案件(1)の「議長、副議長の選任について」を議題として審議しますが、この件について委員の方から、自薦・他薦など何かご意見ございますか。

(事務局一任の声)

特にご意見もないようですので、事務局において、提案がございません。事務局としましては、議長には、4期目で6年間務めてこられた西邨委員に、また副議長には3期目の植松委員にお願いしてはどうかと考えています。

委員の皆様、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

<事務局> 特に異論もないようですので、議長に西邨委員、副議長に植松委

員ということで決定いたします。議長に西邨委員、副議長に植松委員が選任されました。

それでは就任にあたりまして、一言ごあいさつをお願いいたします。

西邨議長 皆様のご協力を持って、議長という大役を果たしたいと存じますので、どうかよろしくをお願いいたします。

植松副議長 社会教育の施策について、みなさんと考えていきたいと存じますので、よろしくをお願いいたします。

<事務局> それでは、議長に、会議の進行をよろしくお願ひします。

西邨議長 早速ですが、資料(2)の枚方公園青少年センターのあり方について(諮問書)について事務局に説明を求めます。

<事務局> それでは、「枚方公園青少年センターのあり方について」南部教育長より西邨議長に諮問を行います。

教育長 第31期枚方市社会教育委員会議・議長 西邨定実様  
枚方公園青少年センターのあり方について、社会教育法(昭和24年6月10日法律第170号)第17条第1項第2号に基づき、枚方公園青少年センターの課題をふまえた今後のあり方について、社会教育委員会議に諮問します。枚方市教育委員会委員長 宮川勝也。  
なお、青少年センターの課題につきましては、後ほど担当者より説明させていただきますので、よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

西邨議長 ただ今、教育長より「枚方公園青少年センターのあり方について」諮問を受けました。今後の社会教育委員会議におきまして、枚方公園青少年センターの課題を踏まえた今後のあり方について議論を重ね、答申を行いたいと考えます。  
続きまして、教育委員会事務局職員の紹介をお願いします。

<事務局> 南部教育長、岸社会教育部長、吉田中央図書館長です。紹介の途中ではございますが、南部教育長、岸社会教育部長、吉田中央図書館長につきまして、他の公務があるため、ここで退席させていただきます。他の事務局は福井社会教育部参事、中田社会教育部次長、大槻社会教育青少年課長、稲田文化財課長、平尾スポーツ振興課長、亀元中央図書館事務長、武田社会教育青少年課主幹、西村枚方公園青少年センター所長、対馬社会教育青少年課長代理、井谷・岡田同課係長、北田同課主任です。

西邨議長　それでは、次に案件（４）枚方市の社会教育について、事務局から説明をお願いします。

<事務局>　教育委員会事務局には、管理部、学校教育部、社会教育部、図書館があり、社会教育関係部署は社会教育部と図書館です。各課長から所管する事務の概要など説明させていただきます。

#### 【社会教育青少年課について】

「平成20年度事務概要」の所管事務の概要を元に主催事業や取り組みについて説明。社会教育基礎講座として今年度は「ようこそ枚方へ」と題し、枚方市のさまざまな取り組みについて、担当課の職員を講師に実施。家庭教育推進事業では「親を考えるセミナー」「親学習講座」などを実施。また「日本語・多文化共生教室事業」「朝鮮語教室」を地域振興部に補助執行して実施。青少年の健全育成のために、ふれ愛フリー・スクエア、青少年育成指導員の事務局、青少年センターを拠点とした青少年サポート事業などを実施。「はたちのつどい(成人祭)」は市内19中学校を会場に今年度1月11日に実施予定です。枚方公園青少年センターに関すること。留守家庭児童会室に関すること。社会教育委員会会議に関することなどの業務を行っております。

#### 【文化財課について】

枚方市内には、国指定の牧野車塚古墳、禁野車塚古墳、国の特別史跡である百済寺跡、田中家のムクの木、淀川のイタセンパラ（魚）、東部の棚田（景観）など貴重な文化財があり、これらを守り後世に伝えていかななくてはならないと考えています。藤阪にある旧田中家鋳物民俗資料館、枚方宿の鍵屋資料館での事業、歴史シンポジウムや春の百済フェスティバルなども開催しています。また、地域には石仏や灯籠などが残されており、たとえ文化財に指定されていなくても、村の歴史と共に歩んできた歴史文化遺産としてとらえ、まちづくりに活かし、どのように後世に伝えていくかが課題です。また、樟葉宮歴史懇話会、七夕まつりの会など市民団体も熱心に活動されています。そして牧野の片埜神社の檜皮葺き替えの予算が文化庁からありましたので、子どもたちにも作業を体験してもらう予定です。

これからも市内のさまざまな文化財を点を線にし、面としながら、貴重な文化財を伝えていきたいと考えています。

#### 【スポーツ振興課】

スポーツ振興課の所管事務の概要について説明させていただきます。事業の主なものは、社会体育、スポーツ・レクリエーション、学校体育施設の開放、体育施設、(財)枚方体育協会に関することなどです。これらをスポーツ振興ビジョンに基づき事業展開を行なっています。

また、体育指導委員協議会、枚方レクリエーション協会、スポーツ少年団の事務局を担っています。

市のイベントとしては春期、秋季総合体育大会、体育の日・スポーツカーニバル、ラグビー・カーニバル、小学生野球教室など、多様な行事を行っています。

次に学校開放事業ですが、小学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放し、幅広い市民にスポーツを楽しんでもらっています。

所管施設としては、総合スポーツセンター（陸上競技場併設）、渚市民体育館、野外活動センターがあります。

今後のスポーツ施設の整備予定として、第2清掃工場横に東部スポーツ公園、元枚方西高校跡地の体育館とテニスコートの改修を計画しております。当課の事務概要としては以上ですが、枚方体育協会の独自事業として実施しておられるキングフィッシャースポーツクラブについて、少し紹介させていただきます。スポーツ振興ビジョンにも総合型スポーツクラブの育成を謳っておりますが、会員制のスポーツクラブでもなく5年目をむかえ、会員数も700人程になっております。体育協会が加盟団体と連携し、各種スポーツが楽しめ、またいろいろなスクールも用意されており、当課としても大いに期待をしている事業です。

#### 【中央図書館について】

昭和48年に発足した枚方市の図書館は、こどもからお年寄りまでが気軽に図書館を利用できるように、まずは分室などの小さなサービスポイントからはじまり、平成17年4月に開館した中央図書館を核として図書館が8館、分室が11、自動車文庫が27か所で図書館サービスを行っています。

中央図書館が開館して4年が過ぎた平成20年度の利用状況は、貸出冊数が440万冊を記録しました。中央図書館開館前と比較すると、28%も増えています。

さまざまな図書館利用に障害のある方へのサービスとして、障害者・高齢者サービスを行っています。また、子どもたちへのサービスにも発足以来、取り組んできました。この永年の子どもたちへのサービスに対して、平成18年度に文部科学省から「子どもの読書活動優秀実践図書館」として表彰されました。また、市民とともに図書館活動をとという図書館の方針のもとに図書館運営に多くのボランティアが参加されています。

今後の行事としては、11月8日に「ひらかた暗唱大会」11月14～15日にリサイクル・ブック市などを開催します。

西邨議長 それでは続きまして、案件（5）の「今後の会議の進め方について」を議題とします。資料の「枚方公園青少年センターの事業概要と課題について」事務局から説明をお願いします。

<事務局> 枚方公園青少年センターは「青少年に学習と憩いの場を与え、青少年の仲間作りと活動を助成し、健全な育成を図ることを目的に平成2年1月に開所し、まもなく開所20年を迎えます。

利用は登録制で青少年の団体をはじめ、一般の団体も無料で利用できます。またロビーは毎日青少年をはじめ様々な年代の方の学習の場やいこいの場としてにぎわっています。

建物の概要はお配りいたしましたパンフレットをご覧ください。青少年センターは京阪枚方電車公園駅から淀川河川公園側へ約150メートルのところにごさいます。1階は公設市場サンパークで2階3階が青少年センターとなっております。利用できる会議室や備品についてはこちらに記載のとおりです。

次に資料に基づき、課題について説明します。

平成18年10月に公民館が生涯学習市民センターとして、市長部局に所管が移り、生涯学習の拠点施設、地域との連携や活性化に貢献する施設へと再編されました。翌19年1月には開館時間の拡大（朝9時開館や祝日の開館）、4月には施設の有料化がスタートし、約2年を経て定着しています。なお、社会教育施設において再編対象とされたのは、施設の性格に一体性が見られる「公民館6館」と「公民館的機能を有する2館（サンプラザ市民センター・南部市民センター）」で、枚方公園青少年センターは対象外とされました。

見直しすべき課題としては主に次のような点であると考えています。

- 1) 生涯学習市民センターにおける受益者負担制度が浸透・定着していることから、一般団体の使用において、公平性が確保できていない。
- 2) 音楽室等の備品をはじめ、施設の老朽化に対応する経費が今後ますます必要となる。
- 3) 青少年と一般の団体を、同列で施設の利用申込みを受付しており、登録団体数も一般団体が約2倍を占めているという状況にある。
- 4) 開館開始時間や休館日、並びに利用対象者など、生涯学習市民センターの運営と異なる点が多い。

西邨議長 諮問に対する答申の期日につきまして、事務局の考えをお聞かせください。

<事務局> 会議につきましては、このあと年内に3回、年明けの3月までに2回程度の開催を予定しております。答申につきましては、来年の3月をめどにお願いしたいと考えます。

西邨議長 では社会教育委員会議といたしまして、来年3月までに答申を行いたいと思います。委員の皆様には、何かとタイトな日程になりますが

よろしくお願ひいたします。では、今まで各課から多方面に渡って説明いただきましたが、何かご質問はございませんか。

高木委員 図書館にお伺ひいたします。定年等退職する先生からよく尋ねられるんですが、不要になった図書について、図書館で引き取っていただけますか。

<事務局> 寄贈は、お受けします。ただし、活用方法については図書館にお任せいただけることをご承認いただいた上です。また、ご自身でお持ち込みいただくこととなります。

藤井委員 青少年センターの説明の中で青少年相談の説明を、もう少しお願ひします。

<事務局> 青少年センターにおいて青少年サポート事業を行っております。社会教育青少年課が中心となり、青少年センターと共に行っています。今、第1、第3火曜日に各区分ごとに相談時間を設け、青少年の引きこもりや悩みなどを聞いています。今年度から相談時間を夜間に移動しまして、青少年が出やすい時間に見直して実施しています。

西邨議長 これは事前に予約が必要ですか、その時間に行ったら相談にのってもらえるのですか。

<事務局> はい事前に予約が必要です。時間区分がございますので、予約専用の電話で申し込みが必要です。

植松副議長 次回の会議で示していただきたい資料があります。枚方公園青少年センターの資料の2番に課題がありますが、公民館から生涯学習市民センターに変わってからの減免の運用状況について、また、青少年サポート事業の相談の利用頻度について、教えてください。

<事務局> ご質問の資料につきましては、次回の会議までに生涯学習課とも相談しまして当日に資料をお示しします。

青少年サポート事業ですが、この2年間の件数では、ひきこもりの相談が圧倒的に多くなっています。この事業は大阪府から補助金を受けて実施してきましたが、平成20年度で補助金の打ち切りとなり、今年度から市の単独事業として取り組むことになり、夜間の相談時間にシフトし、保護者などが相談に来やすい時間帯に行っております。また電話相談も行っております。課題としましては、概ね26歳までの方を対象としておりますが、26歳を超えたからといって相談を受け付けないということではありません。

枚方市では家庭児童相談所や教育文化センターなど、年代に応じた相談窓口もあり、その辺りとの連携をとっていく必要があります。

植松副議長 あと2つ、青少年センターの登録状況では明らかに使用する頻度が青少年と一般では違っていますが、実際に利用している時間帯についてどうですか。青少年は昼間は学校があり、利用はできないと思いますので、曜日と時間の特徴を教えてください。

もう一つは、生涯学習市民センターでは主催事業をどの程度実施しておられるのでしょうか。また市民が主催事業に参加される場合の費用負担は、有料か無料か教えてください。

<事務局> 青少年センターの部屋別の利用状況については、次回にお出しいたしますが、音楽室については、夕方から夜にかけてと土曜、日曜に青少年の利用が多い傾向にあります。4月から6月の昼間については、一般7：青少年3となっていますが、これが7月、8月の夏休みとなると逆転します。また、生涯学習センターの主催事業は活動委員会があり、枚方市から負担金を支出しています。主催事業については、材料費程度の実費をいただいていますし、参加費等の徴収は、公民館時代から引き継がれております。このあたりも生涯学習課とも相談し、資料をお出ししていきたいと考えています。

高木委員 成人教育に関することについて具体的に教えてください。

<事務局> 成人教育の具体的な内容につきましては、社会教育基礎講座という事業名をつけまして、昨年度は裁判員制度について、今年度は「よろこばせ枚方へ」ということで、枚方市に引っ越してこられて間もない方への、子育て・教育、文化観光・文化財・環境などの講座を企画しております。その他、社会問題なども取り入れていくべきだと考えています。

西邨議長 ではその他何かございませんか。ないようでしたら、次回の会議の日程について調整したいと思います。

#### <日程調整>

西邨議長 日程につきましては、10月6日（火）午後3時から、会場は諮問を受けた枚方公園青少年センターで施設見学をした後、センター内で会議を行います。